

おおふなと

ふれあいネットワーク

# 社協だより



2016年12月号

【特集】あなたの“今”から一歩前へ……………2~3  
声の福祉図書館……………4  
福祉教育出前講座……………4  
福祉人材育成（現場実習受け入れ）……………5  
社会福祉推進校……………5  
お知らせ……………6~7  
輝き人……………8



## 今月の表紙

さとう まこと じゅんこ  
佐藤 誠さん・順子さん

ななみ あみ  
七海さん(中3)・碧海ちゃん(小4)

ノブ子さん(大船渡町在住)

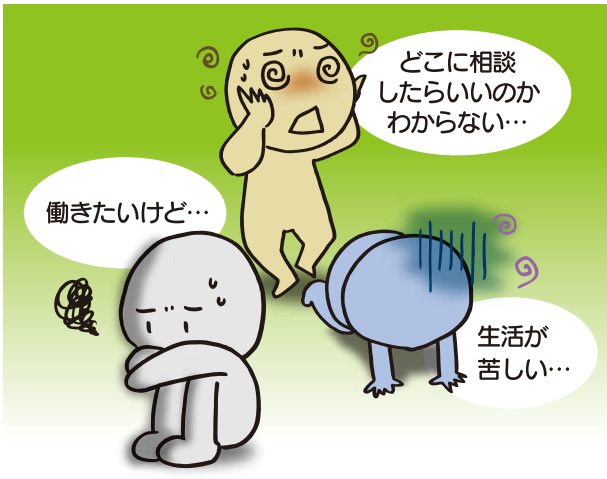
「仰山流笹崎鹿踊、  
父と娘の初共演！」



# あなたの「今」から一歩前へ

平成27年4月に大船渡市から生活困窮者自立支援事業を受託し設置した相談窓口「ここからセンター」には、さまざまな生活の困りごとについて相談が寄せられています。

昨年度の相談支援件数は2、588件（うち、新規相談件数は112件）、418人の方々の生活の困りごとについて支援を行ってきました。



## 相談から見えてきたこと

相談者の約5割は、40〜50代の人で、相談内容は、収入や生活費といった家計に関するもののほか、病気や障がい、仕事、住まい、家族や人間関係など多岐にわたっています。

相談時の特徴として、①世帯として、複合的に問題を抱えている、②すでに貸付支援を受けている、③緊急状態になってから相談にくるなどの内容のものが多くみられます。相談者の中には、ほんの些細なつまづきから次第に困りごとが増えて身動きが取れなくなっている人や、誰にも相談できずに孤立してしまう人も多くいます。

## 課題解決までの流れ

それぞれの生活の困りごとは、今ある制度に当てはめても、すぐに解決することが難しい場合がほとんどです。そのため、元々の原因となつていることを相談者と一緒に取り組まながら、問題解決にむ

けたプランを作成します。

解決するまでは、社会福祉協議会が寄り添いトータル的に支援していきますが、行政、ハローワーク、法テラス、民生委員、企業、NPOなどの関係機関とも連携・協働して支援を行います。

## 就労に向けた支援の展開

生活の困りごとの解決には「就労」が重要になりますが、家庭の事情などで長期間仕事から離れていたたり、コミュニケーションに自信がない、などといった悩みを抱えている人も多くいます。

そこで、就労に対する悩みごとを一つずつ解決しながら就労へ向けて支援する「就労準備支援事業」を平成28年度から始めました。一人ひとりの状況に応じたプログラムを作成し、解決へ向けて支援をしています。

## 企業・事業所の皆様へ

就労準備支援事業を利用している人の中には、何らかの事情により就労経験が浅い、あるいはブラックがあるといった人もいます。そうした人たちにとって、職場の雰囲気を感じることや就労体験は、就職に向けたイメージを明確にするための必要なステップとなりま

す。就労支援を行っていく時に、体験や実習の場を一つでも多くしていくことで、効果的な自立支援を行うことができるようになります。

そこで、就労自立ステージでのY・Sセンターや総合福祉センターにおけるプレ就労体験を行った人を対象に、職場見学や短期間の就労体験を受け入れていただきたいと考えています。

生活困窮者の就労の場というと、社会貢献のように受け取られることが多いですが、就労支援の取り組みが浸透している地域では、企業や事業所側においても人手不足や早期離職といった問題の解消を図ることもつながる機会となると言われています。

あくまで体験、インターンシップ的なものであり、就職そのものを受け入れていただくことを目的とはしておりませんので、企業・事業所の皆様のご協力をよろしく申し上げます。



就労準備支援

プログラムの一例

○運動・体力アップ講座

日常生活の中でできる運動を学んでいます。

○リラククスセミナー

自分だけのアロマスプレーを作ってリラククスする方法を学びます。

○花植えボランティア

11月に、三陸鉄道盛駅の花壇へお花を植えるお手伝いをしました。

○フリースペース

毎週、卓球を自由参加で行っています。

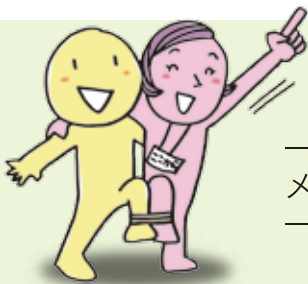
その他、面接やカウンセリングでのアトワークからコミュニケーション講座、職場見学・就労体験まで幅広いプログラムを準備しています。  
(今後予定しているセミナー・講習会)

1月 運動体力アップ講座

食生活改善セミナー

2月 パソコン講座

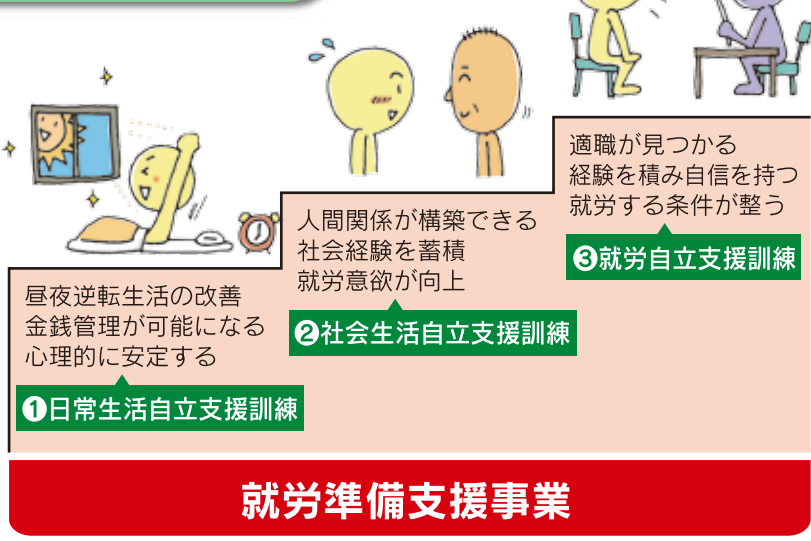
「パソコンで絵を描いてみよう」  
\*パソコンを使う自信のない人へ、個別で基礎から指導します。



一人ひとりの状況に応じた支援プログラムを様々なメニューの中からオーダーメイドで作成し、それを一緒に確認し、スタートしていきます。



どういった支援があるの？

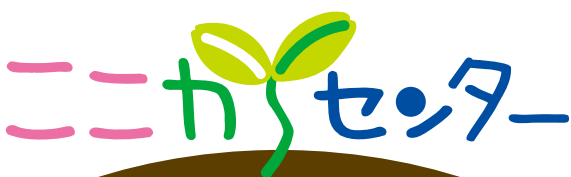


カウンセリング

居場所づくり

就労準備支援事業

はたらくことに困っていたら、  
ひとりで悩まず まずは  
ここからセンターへご相談ください



☎0192-27-0001  
(大船渡市 Y・S センター内)



コープフードバンクや個人から食糧提供を受け、状況に応じて「食」の支援も行っています。ご協力いただける皆様が増えることで、より充実した支援が可能となります。

# 耳で聴く 読書のすすめ



大船渡ボランティアグループせきれいのみなさん。現在、一緒に活動してくれる仲間を募集しています。

声の福祉図書館では、朗読した音声を取録した録音図書（テープ）を無料で貸し出しています。貸出と返却は郵送で行っているのですが、ご自宅に居ながら利用することができ、小説や落語、浪曲、民話集、名曲アルバムなど幅広いジャンルの録音図書を手軽に楽しめます。

す。

この図書館を運営しているのは、大船渡ボランティアグループせきれい（金野聰子会長）。せきれいでは、自分たちで録音と編集を手掛けたオリジナル録音図書「声の雑誌せきれい」も作成しており、録音図書を貸し出す時に、一緒にお送りしています。

利用者の今野さん（65歳・男性）は、「おすすめの図書を選んで送ってもらっている。『声の雑誌せきれい』は、それぞれの声が个性的。特に、気仙のことを話すコーナーは親近感がわく。毎回、待ち遠しい。」と楽しみにしてくれています。

- 開館日 毎週水曜日午後1時～3時（祝日は休み）
- 場所 大船渡市総合福祉センター内
- 問い合わせ先 大船渡市声の福祉図書館（大船渡市総合福祉センター内、電話2613500）

# 聴覚障がいを理解しよう



赤崎・蛸ノ浦小3年のみなさん。楽しみながら、聴覚障がいを理解することができました。

社会福祉協議会では、福祉やボランティアについて理解を深めてもらうため、「福祉教育出前講座」を行っています。

11月16日（水）に赤崎小学校と蛸ノ浦小学校の3年生16人を対象に行なった手話教室の授業では、聴覚障がいをもっている人へ講師をお願いしました。

授業では、はじめに、児童一人ひとりが、これまで練習してきた「指文字」で自己紹介。手話で

講師と会話ができると、どの子も嬉しそうに微笑んでいました。

その後、児童から講師へいくつか質問が出され、「手話で表現できない日本語はありますか」の質問に「手話では、は、は、が、へなどの助詞は表現しませんが」と講師が答えると、子どもたちはビックリ。音声言語との違いも知ることができました。

また、ジェスチャー伝言ゲームを通し、手話以外にもコミュニケーションを通る方法があることも学びました。

最後に、講師から「街で困っている人をみかけたら、見振り手振りでもいいので声をかけてね」とお願いがあり、児童が手話で「ありがとうございます」と御礼を述べて授業を終えました。福祉教育出前講座は、企業や地域での会合などへも伺います。詳しくは、本会へお問い合わせください。

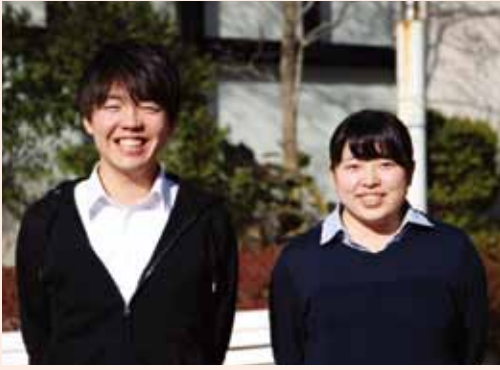


## 福祉人材育成（現場実習受け入れ） 思いや気づき・関心を大切に



社会福祉協議会では、就職を目指している人や福祉の仕事に携わりたい人の実習を広く受け入れています。今年度の実習生は5人。そのうち9月から11月にかけて約4週間、岩手県立大学社会福祉学部3年の2人の実習を行いました。

今回は、社会福祉士取得のための現場実習で、相談業務を中心に、同行や体験を多く盛り込み、より現場に近い環境を体験



県立大学3年の岩脇君(左)と菊池さん(右)。地元の社会福祉に貢献したいと考えています。

してもらおう内容でした。まとめとして、「今、大船渡市に必要な事業の提案」にも挑戦してもらいましたが、二人とも、自分たちの地域と真剣に向き合っている姿が印象的でした。

### ○実習生の感想

（岩脇翔斗さん・末崎町出身）

社会福祉協議会は、地域福祉の推進という目的があることから、地域単位に支援するというイメージがありました。地域だけでなく、個人に対して寄り添い、支援していることを学びました。「寄り添う」ことを意識して福祉に携わりたいと考えています。

（菊池有美さん・住田町下有住出身）

地域福祉の分野に興味があり、社協を実習先として選びました。福祉の視点から誰もが暮らしやすい地域を実現させるには、地域をよく知ること、住民と二人三脚で活動することが大切だということを学びました。

## 社会福祉推進校

## 末崎中学校のふくし教育



社会福祉協議会では、子どもたちに福祉やボランティアの理解を深めるため、市内の小・中・高校から3校を社会福祉推進校に指定し、福祉教育活動を支援しています。

今年度、推進校の指定を受けた末崎中学校では、生徒会や生活委員会が中心となり、熊本地震災援金への募金活動や校内の花壇づくり、町内にある学童保育やデイサービスセンターの訪



生活委員会が中心となり、歳末たすけあい募金活動を行いました。

問などに取り組んでいます。また、11月から12月にかけて歳末たすけあい募金活動も実施。朝会や各学級で募金への協力を呼びかけました。最初は思うような協力は得られませんでした。日増しに募金に協力してくれる生徒が増え、頼もしさと喜びを感じながら募金活動を行ないました。

家族から、「震災の時を思い出して、お返しするつもりで協力しなさい」と言われた前期生活委員長長の3年大和田真子さん。大和田さんは、家族から預かった募金のほかに自分のおこづかいからも募金をしました。

今回、取り組んだ募金は、12月5日に、大船渡市共同募金委員会運営委員（大船渡市社会福祉協議会・新沼眞作副会長）へ伝達。後期生活委員長長の2年村上颯土さんから、「自分たちの思いが詰まった募金を困っている人へ役立てて欲しい」という言葉も添えられました。

- 講師 本会スポーツ指導員、水泳指導員
- 受講料 1,000円(そのほか、プールを利用する都度、プール利用料をご負担ください。)

### 水中散歩レッスン(定員40人)

- 期間 1月17日～3月7日の毎週火曜日(8回)
- 時間 午前10時30分～11時30分
- 内容 体力維持を図るための水中運動

### アクア健康教室(定員40人)

- 期間 1月18日～3月8日の毎週水曜日(8回)
- 時間 午前10時30分～11時30分
- 内容 リズム運動・水中ゲーム

### フレッシュ水泳教室(定員30人)

- 期間 1月19日～3月9日の毎週木曜日(7回)
- 時間 午後6時30分～7時30分
- 内容 泳力指導

### さわやか水泳教室(定員①30人、②20人)

- 期間 1月20日～3月10日の毎週金曜日(8回)
- 時間 ①午前 9時30分～10時30分  
②午前10時35分～11時35分
- 内容 泳力指導

### 児童水泳教室

- \*小学2年生～(定員①35人、②25人)
- 期間 1月21日～3月11日の毎週土曜日(7回)
- 時間 ①午前 9時30分～10時30分  
②午前10時30分～11時30分
- 内容 泳力指導(泳げない児童対象)

### アクア・水泳[冬期ワンポイントレッスン](1月)

水中運動を楽しみたい人へ水泳指導員がワンポイントレッスンを行ないます。参加費は無料。事前の申込みが必要です。

開催日	時間	内容
10日(火)	午前10時30分～11時30分	アクア・水泳
12日(木)	午後6時30分～7時30分	水泳
13日(金)	午前10時30分～11時30分	アクア・水泳

### \*Y・Sセンター情報

#### 年末年始休館のお知らせ

12月28日(水)から1月4日(水)までは、年末年始につき全館休館となります。

#### 寄附金受入報告

11月に次の方々からご寄附をいただきました。ありがとうございます。

#### 復興支援金

(株)危機管理教育研究所(東京都)様



「募集」「イベント」「お知らせ」など暮らしに役立つ情報をお届けします。

申込・大船渡市社会福祉協議会  
問い合わせ先 電話 0192(27)0001(代表)

### \*支えあいまちづくり事業情報

#### 陽だまりサロン



誰でも参加できるサロンです。ご近所お誘いあわせの上、お近くのサロンへお越しください。今月は、崎浜公民館で開催するサロンのみ2回開催します。

- 時間 午前10時から正午(猪川地区公民館でのサロンは午後1時まで)
- 内容 血圧測定、軽体操、ゲーム、手芸、お茶っこなど

#### 陽だまりサロン日程(1月)

開催日	会場
6日(金)	吉浜地区拠点センター
10日(火)	碁石コミュニティセンター
11日(水)	崎浜公民館
18日(水)	鷹生公民館
20日(金)	下中井公民館
24日(火)	猪川地区公民館
25日(水)	崎浜公民館
27日(金)	綾姫ホール

### \*子育て関連情報

#### おでかけひろば



子育て親子の交流の場です。大船渡地区公民館での「おでかけひろば」は、午後の開催です。

#### おでかけひろば日程(1月)

開催日	会場	時間
10日(火)	大船渡地区公民館	午後1時～4時
14日(土)	サポートセンターおたすけ	午前10時～正午
24日(火)	サポートセンターとみおか	午前10時～正午
25日(水)	カリタス大船渡 地の森いこいの家	午前10時～正午
28日(土)	サポートセンターさんそん	午前10時～正午

### \*生きがい・健康づくり情報

#### 水泳教室受講生募集

今年度3期目の水泳教室を開講します。希望者は、1月5日(木)、6日(金)の午前9時～午後5時にY・Sセンターへ来所し、受講料を添えてお申込みください。

- 会場 大船渡市Y・Sセンター プール

- 申込・問い合わせ先 岩手県立児童館・いわて子どもの森(電話0195-35-3888)  
(第1部)いのちのおはなしワークショップ
- 時間 午前10時30分～正午
- 対象 おおむね3歳以上の幼児と保護者  
(第2部)子育て支援交流会
- 時間 午後1時30分～3時
- 対象 子育て支援に関わっていて、第1部のワークショップを見学できる人

## 法テラス気仙情報

法律の専門家が無料で相談を行っています。秘密は固く守られますので、安心してご利用ください。相談時間は1回30分で、予約者を優先します。

	時間帯	月	火	水	木	金	土
弁護士	昼	●	●		●	●	▲第3
	夜				▲第1 第3		
司法書士	昼		▲第2	●			
税理士	昼			▲第2 第4			
社会保険 労務士	昼			▲第2			

相談時間帯(12月～3月) 昼…午前10時30分～午後3時30分、夜…午後6時～8時

- その他 毎月第2火曜日には、市役所三陸支所で司法書士が相談に応じます。  
午前10時～午後3時
- 申込・問い合わせ先 法テラス気仙(盛町字宇津野沢9-5、電話050-3383-1402) 午前9時～午後5時

## 義援金をありがとうございます

- 10月に次の方から義援金が寄せられました。
- 台風10号大雨等災害義援金  
明和保育園保護者様、三浦のろこ様、吉浜小学校様

## 介護のしごと相談

キャリア支援員が福祉の職場に就職したい方などの相談に応じます。

### 介護のしごと相談(1月)

開催日	会場	時間
12日(木)	ハローワーク	午前10時～正午
16日(月)	Y・Sセンター	午前9時～午後4時
23日(月)	Y・Sセンター	午前9時～午後4時
26日(木)	ハローワーク	午前10時～正午
30日(月)	Y・Sセンター	午前9時～午後4時

- 申込・問い合わせ先 岩手県福祉人材センター・坂本さん、電話080-8201-0200、ファクス(27)0800

## いのちのおはなしキャラバン事業

親子の信頼関係を深め、子どもの自己肯定感を高めることや親自身の子育ての自信回復を目指して開催します。事前の申込みが必要です。

- 日にち 1月18日(水)
- 会場 大船渡市Y・Sセンター 大会議室
- 参加費 無料



- 1月号課題 「雑詠」
- 締め切り  
1月5日(木) **必着**。  
1人1句。(自信作をひとつ)はがき使用。
- 投句先  
立根町字下欠 125-12  
「Y・Sセンター」内  
大船渡市社会福祉協議会  
「ふくし川柳」係
- その他  
作品によっては、添削する場合があります。投句者の氏名にはフリガナをつけてください。

※先月号の投句者の氏名に誤りがありました。  
×金野みどりさん  
○金山みどりさん  
訂正してお詫び申し上げます。

ユーモアのある川柳に出合えて感激。情景も想像でき、ドラマのワンシーンを見ているようで楽しい。「飾る」という言葉を使わずに詠む作者のセンスが光る作品だ。さて来年はどんなドラマを見せてくれるだろうか。

主役より 派手なドレスで

赤っ恥

大・中村 祥子

《佳作》

願い込め飾るしめ縄光り出す

日・佐藤アサ子

身を飾るダイヤに負けぬ心意気

東京調布市  
島田 敬子

髪飾りここぞと光る舞扇

末・佐々木貴美子

着飾ってデイサービスで語り合う

立・千葉美於子

目一杯飾り浮き浮きクラス会

末・滝田 澄子

凛と生き八十路を飾る素晴らしさ

立・武田 みつ

着飾った仲間弾ける成人式

大・吉田 國子

世の平和祈りつつ買うしめ飾り

盛・保原 勘二

大・金山みどり

大・金山みどり

課題「飾る」 富谷英雄 選  
投句数17句

「ふくし川柳」

富谷英雄 選  
投句数17句



# 輝き人

お 日 出 夫 さん (73 歳)  
み う ら ひ で お  
三 浦 日出夫 さん (73 歳)

今年11月、少年サッカーチーム「FCサンアルタス大船渡」へ復帰。小学生へのサッカー指導を再開した。「三浦屋」店主。  
\*現在、団員募集中!



## サッカーを通して

### 「尊重し合う」ことの大切さを伝えたい

#### ● 変わらぬ情熱

スポーツ少年団を立ち上げ、子どもたちへサッカーを教え始めたのは35歳の時。十数年前に、家庭の都合で、一度、指導者を退きました。今年11月、盛小のグラウンドが開放されたことを機にチームへ戻りました。今は、練習開始時間が待ち遠しく、好きな人に会いに行く時のようなときめきを感じながらグラウンドへ向かっています。「子どもたちを育てたい」という「情熱」は、昔も今も変わっていません。

#### ● 子どもたちの成長が楽しみ

うちのチームの子どもたちは、震災後、ホームグラウンドにしていた盛小の校庭を使用できず、練習場所を点々としながら練習してきました。そんな環境の中

で練習してきた子どもたちは、窮屈な思いをしたはず。けれども、子どもたちには、たくましさ

が育まれました。自信のある子どもには優しさを、自信が足りない子どもには強さを付けてあげたい。指導者としての醍醐味は、子どもたちの技術の上達はもちろんのこと、人間的な成長を間近で見られることです。一人ひとりの性格に応じて、どのようにアプローチしたら成長させられるのかを常に考えながら関わっています。

#### ● 感謝し、尊重し合うこと

サッカーは、お互いを助け合いながら戦うチームスポーツです。子どもたちには、「強い子も弱い子もみんなチームメイト。だから仲良くしないとダメなんだよ」と言っています。監督やコーチ、送

り迎えをしてくれる家族、相手チーム、審判などへの感謝することの大切さについても話します。互いに感謝し、尊重し合うことは、サッカー以外のあらゆる場面においても大事なことです。将来、サッカーだけでなく、人としても日本代表となるような子どもを育てたいんです。

#### ● 常に挑戦し続けたい

人の寿命は決まっています。その日が来るまでの時間を、あと何日と数えて過ごすのではなく、常に新しいことに挑戦し続けながら過ごしたい。気持ちまで老いてしまうのは嫌なんです。

今でも「岩手60」というチームに所属し、試合に出場しています。去年は、70歳以上の選手が出場する全国大会で優勝しました。サッカーが好きだから、サッカーから離れられないんです。これからは、サッカーと関わり続け、サッカーを通して自分にできることをしていきたいと思っています。



今月の社協だよりの中に、クリスマスの時期によく見かけるものの「材料」が散りばめられています。それらを組み合わせると何が出来るでしょうか? 当ててみてね!